



言葉で伝え合おう

令和2年3月1日
静岡市立南中学校
学校便り 3月号

この一曲

校長 山内 健史

しばらく忘れていたこの一曲を年末に聴いた。もともとは2009年のNHK朝ドラ「だんだん」の劇中歌だったらしいが。その当時にはまったく耳にとまらなかった。数年前ふと、ある素人の歌コンで初めて意識して聴くことになった。ぐっとこみ上げるものを感じ、すぐスマホで検索した。三倉茉奈・佳奈が最初に出てきたが、作詞者 Miyabi (竹内まりや) の名前を発見した。

いのちの歌

生きてゆくことの意味 問いかけるそのたびに
胸をよぎる 愛しい人々のあたたかさ
この星の片隅で めぐり会えた奇跡は
どんな宝石よりも 大切な宝物
泣きたい日もある 絶望に嘆く日も
そんな時そばにいて 寄り添うあなたの影
二人で歌えば 懐かしくよみがえる
ふるさとの夕焼けの 優しいあのぬくもり

本当にだいじなものは 隠れて見えない
ささやかすぎる日々の中に かけがえのない喜びがある

いつかは誰でも この星にさよならを
する時が来るけれど 命は継がれてゆく
生まれてきたこと 育ててもらえたこと
出会ったこと 笑ったこと
そのすべてにありがとう
この命にありがとう

私は早々に床に入ったので、見逃してしまいましたが、紅白歌合戦に竹内まりや本人が出演してこの曲を歌ったんですね。皆さんの中にもぐっとこみ上げてきた方がいるかもしれませんね。もし、まだ「いのちの歌」を聴いたことのない方はぜひ聴いてみてください。お勧めです。感動、間違いなし！